

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |   |            |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 6    | 身体拘束をしないケアを実践していくには、日々の振り返りが重要になってくる。加えてマニュアルに沿った研修を積み重ねる事が重要。 | 日々の振り返りが職員個々でも出来るようになり、職員全体でも振り返りが出来る。また、マニュアルに沿った研修ができるようになる。 | 毎月の職員会議の場で話し合い、日々の振り返りを行い話し合う場をつくる。                       | 6ヶ月        |
| 2        | 7    | 虐待を防止するには、日々の振り返りとマニュアルの見直しが必要。                                | 日々の振り返りが職員個々でも出来るようになり、職員全体でも振り返りが出来る。                         | 毎月の職員会議の場で話し合い、日々の振り返りを行い話し合う場をつくる。話し合いの中で必要時マニュアルの改正を行う。 | 6ヶ月        |
| 3        | 23   | 1人ひとりの思いや意向の把握に努めているか。   | 入居時は、センター方式を取り入れたアセスメントを実施し、職員間で情報を共有できるように取り組む。               | 状態変化時や新たな情報を組み入れたアセスメントを行う。                               | 12ヶ月       |
| 4        | 24   | これまでの暮らしの把握に努めているか。  | 家族から今までの暮らしの情報を得る。自宅訪問できる限り行う。                                 | 状態変化時や新たな情報を組み入れたアセスメントを行う。                               | 12ヶ月       |
| 5        | 26   | 本人方位の介護計画を作成しモニタリングを行う。  | 本人の思いを一番大切にしつつ、家族の状況を理解し、専門職として話し合う時間をもうける。                    | 状態変化時や新たな情報を組み入れたアセスメントを行う。必要時専門職と話し合うように努める。             | 12ヶ月       |
| 6        | 34   | 急変時や事故発生時には、様々な状況を想定して実践的な研修を行う。                               | 研修を通して得た情報を共有して、職員一人ひとりが適切に対応出来るようになる。                         | 法人内外の研修に計画的に参加したり、マニュアルを整備して、その内容を共有する。                   | 12ヶ月       |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。